

賛否の公表

※採決で賛否が分かれた案件の審議内容です。賛成及び反対の立場から討論がありましたので、その要旨を掲載します。これ以外の案件は全会一致で可決等されています。

● 採決結果一覧表 ●

(賛成=○、反対=×)

議席	氏 名	会 派	発議案 第26号	発議案 第28号	議案 第35号	議案 第50号
1	鈴木 雅彦	奥和会	○	○	○	○
6	及川 佐		○	○	○	○
8	菅原 由和		○	○	○	○
12	千葉 正文		○	○	○	○
15	中西 秀俊		○	○	○	○
16	小野寺隆夫		○	○	○	○
18	中澤 俊明		○	○	○	○
20	藤田 慶則		○	○	○	○
23	渡辺 忠		○	○	○	○
3	廣野 富男	市民クラブ	○	○	○	○
10	高橋 政一		○	○	○	○
11	佐藤 郁夫		○	○	○	○
19	千葉 悟郎		○	○	○	○
24	佐藤 邦夫	日本共産党	○	○	○	○
2	千葉 敦		○	○	×	×
17	菅原 明		○	○	×	×
22	今野 裕文		○	○	×	×
27	及川 善男		○	○	×	×
4	佐藤 洋	新世会	×	×	○	○
5	菊池 利美		×	×	○	○
7	菅原 圭子		○	○	○	○
9	飯坂 一也	公明党	×	×	○	○
14	阿部加代子		×	×	○	○
13	加藤 清	無会派	○	○	○	○
25	内田 和良		×	○	○	○
28	小野寺 重		○	○	○	×
賛成：反対			21:5	22:4	22:4	21:5

※議長は採決には加わりません
(注) 請願は原案についての表決

議案番号	案件名
発議案第26号	地域自治区の設置期間を変更する条例の制定
発議案第28号	奨学金制度の充実等を求める意見書
議案第35号	平成28年度奥州市一般会計予算
議案第50号	奥州市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

発議案第26号 地域自治区の設置期間を変更する条例の制定について
P2記載の討論内容のほか次の討論がありました。

反対討論 市民アンケートによると地域自治区の廃止に反対の割合よりも、存続、あるいはこのまましばらく考えるべきだというほうが少なかった。本当に行財政改革を進めて将来の明るい奥州市をつくるために、少しでも有効に使える予算を確保すべき時である。市債というものは、子ども、孫たちに借金をすると同じ意味である。今、分らないからということでは、時間延ばしをして、本当にこれからの明るい奥州市づくりの運びとなるのか疑問であり反対する。

賛成討論 地域自治区の設置が1年延びて、あるいは2年延びて行財政改革に影響するという議論もあるが、財政計画でプライマリバランスも黒字となっており、着々と財政基盤もいい方向に向かっている。これが1年延びて行財政改革の妨げになるということにはならない。請願、陳情の採択状況も踏まえ、慎重かつ丁寧に議論をしていくべきであり賛成する。

発議案第28号 奨学金制度の充実等を求める意見書について
反対討論 意見書は、議会の意見を国の政策に反映させるため提出するものであり、制度等を十分精査した上で提出すべきと考え、反対する。

議案第35号 平成28年度奥州市一般会計予算について
P3記載の討論内容のほか次の討論がありました。

反対討論 職員の削減計画は、小沢市政の第一の柱であり、財政再建の柱でもあるが、急激な市債の返済と基金の造成のための原動力にもなっている。しかし、これ以上の職員削減は、行政機能の低下を招き市政の停滞を招く。将来の財政危機を煽るだけでなく、市

民の願いに答える市政運営に改めるよう反対する。

賛成討論 市税収入の大きな伸びが期待できず、地方交付税の減少傾向は変わらない中、今後の財源確保は困難な状況が想定される。当初予算の経常経費の抑制や将来負担の縮減を図り、安定的な財政運営を目指す姿勢、また農業や商工業による地域経済の活性化への取り組みなど、活力ある市の実現のための予算案となっており賛成する。

議案第50号 奥州市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
反対討論 現状、保育士が不足し確保が難しいということでは、みなし保育士をということになるわけだが、保護者が保育に求めることは、子どもの安心と安全が本心に確保できるのかということにあり、保育に関わる職員は、全員保育士であるべきという立場であるから、この条例案には反対する。